

# 南予のお土産

## 高校生厳選

宇和島・鬼北の4校



## きょう神戸で販売会



生徒が育てた米や加工品を集めたお土産セット

梅ジャム

三間米

うしお汁  
缶詰

サクラの箸

宇和島市と鬼北町の高校と分校計4校が、地域の特産品や生徒が手がけた加工品を集めたお土産セットを、21日に神戸市の大型スーパーで販売する。自慢の商品を袋詰めした生徒たちは「南予と学校をPRしたい」と意気込んでいる。

職業学科がある高校同士のネットワークづくりを目的に、県教育委員会が実施する事業の一環。宇和島水産高、吉田高、北宇和高、高三間分校が2021年度から交流を続けてきた。

お土産セットは、松野町産南高梅を使った梅ジャム(北宇和)▽サクラの木を加工した箸(吉田)▽学校の田んぼで育てた三間米(三間)▽養殖マダイとガンガゼウニを使ったうしお汁缶詰(宇和島水産)の4品。商品を決める紙袋のデザインは宇和島東高が担当した。ダイエー神戸三宮店

で開く県産品フェアに合わせて1セット1500円で販売する予定。19日、宇和島市明倫町1丁目の宇和島水産高で5校の生徒計約20人が商品のラベル貼りや袋詰め作業に取り組んだ。三間分校2年の猿谷めぐみさん(17)は、自分たちで育てた県のブランド米「ひめの凜(りん)」について「もちもち感があって、とてもおいしい」と紹介。

「愛媛や南予を知ってもらい、現地にきて特産品を購入してほしい」と期待を込めていた。販売会には宇和島水産、北宇和、三間分校の代表者が参加する。北宇和高3年の兵頭愛可さん(18)は「交流を通じて、各校の持つ技術や商品を詳しく知ることができてよかった。商品販売でさらなるPRにつなげたい」と話していた。(長尾翼)



販売会を前に缶詰のラベル貼りに取り組む生徒